

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【令和 7 年度】

※1～6, 9:施設所管課記入
7:指定管理者記入
8:指定管理者及び施設所管課記入

指 定 管 理 者 名	西古川地区振興協議会
施 設 所 管 課	地域交流センター

1. 施設名

施設名	大崎市西古川地区公民館	施 設 の 住 所	大崎市古川保柳字氏子202番地
		電 話 番 号	0229-26-2118

2. 施設の概要

設 置 年 月 日	昭和48年4月1日	設置条例等	大崎市公民館条例(平成18年大崎市条例第126号)
設 置 目 的	教育, 学術及び文化に関する各種の事業を行い, もって市民教養の向上, 健康の増進及び情操の純化を図り, 生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与する。		
施 設 の 内 容	敷地面積:2,291.52㎡ 延床面積:497.34㎡ ホール・研修室(1)・研修室(2)・和室・調理実習室・備品室・物置・事務室		
利 用 料 金	(区分)1時間あたり ホール:490円 研修室(1):120円 研修室(2):120円 和室:120円 調理実習室:220円		
閉 館 日 , 開 館 時 間	閉館日:12月29日から翌年の1月3日まで 開館時間:午前9時から午後9時まで		

3. これまでの管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
平成 24 年度～平成 26 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他 3	西古川地区振興協議会
平成 27 年度～平成 29 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他 3	西古川地区振興協議会
平成 30 年度～令和 4 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他 3	西古川地区振興協議会
令和 5 年度～令和	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他 3	西古川地区振興協議会

4. 現指定管理者の指定期間

指定期間	令和 5年 4月 1日	～	令和 10年 3月31日	(5 年 0 ヶ月)
選定方法	2	1.公募 (応募者数: 団体)	2.非公募	

5. 指定管理料

令和 7 年度(ア)	令和 6 年度(イ)	(ア) - (イ)
13,117 千円	13,117 千円	0 千円

※(ア)は当該年度, (イ)は前年度とし, それぞれ決算額ベース。

6. 指定管理者が行う管理運営業務の内容

指定事業(業務): 1.生涯学習事業に関する業務 2.管理物件の利用許可等に関する業務 3.管理物件の維持管理に関する業務
自主事業: 1.自動販売機設置及び災害時の備蓄水保管業務、2.「ねこの家族登録証」発行サービス事業、 3.「ふるさとグッズ販売にしふるかわ屋」、4.日本郵便配達員労働環境改善支援業務、 5.旧大崎市立西古川小学校体育館等施設利用管理業務

7. 利用実績等

(1)利用者数

(単位:人, 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和 6 年度	742	541	855	890	510	506	2,627	1,613	346	369	339	678	10,016
令和 7 年度	543	409	1,017	2,023	819	606	2,482	2,437	299	231	2,499	705	14,070

主な増減要因	7月、2月の増加理由:国政選挙実施に伴う来館者増 年間利用者増の理由:県知事選挙と2度の国政選挙に伴う来館者の増
--------	---

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用者数を記載し、自主事業による人数・件数は記載しないこと。

(2)利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和 6 年度	19.5	7.9	29.8	30.9	15.9	16.8	6.9	17.6	18.9	22.4	18.2	16.5	221.3
令和 7 年度	12.5	4.0	17.1	14.4	28.7	7.8	4.5	11.0	11.0	11.0	24.0	21.0	167.0

主な増減要因	夏季、冬季間の利用が減少し、冷暖房料収入の減少になった。
--------	------------------------------

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用料金を記載し、自主事業による収入は記載しないこと。

(3)サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取組み

前年度に引き続き実施している取組

- 「まなぶ」、「つどう」、「むすぶ」、「いかす」のキーワードを基本に公民館運営に努めた。
 - ・誰でも気軽に利用しやすい施設としての環境整備
 - ・地域の方々、地域団体等の活動の支援
 - ・安全安心な地域拠点として自治組織、消防組織、防犯団体、交通安全団体等との情報共有
 - ・資源の有効活用
- 毎月発行の「公民館通信」に利用ガイド欄を設け利用手順、利用料金一覧表等を掲載。
 - ・公民館情報にとどまらず、地域活動や各団体等の情報を積極的に掲載した。
- SNSなど電子媒体を活用した情報発信。
- 公民館運営委員として西小中学校生徒(7年生)2名が参加し、青少年の公民館や地域行事に対する興味、関心の向上に努めた。

(4)施設利用者の主な声やその対応状況

- 調理室専用のサンダルに履き替え利用するルール、調理室を清潔に保つこと、利用者視点でも清潔感が感じられてとても良い。小学生も調理室を利用する機会があるので、子供用のサンダルも用意してほしい。
 - ⇒子供用サンダルを購入、調理室に備え付けた。
- 日本語学校学生や西小中学校の児童生徒と交流できる事業があるとよい。
 - ⇒西小中学校を会場に「クップ交流会」を開催し、8学年生チームと高齢者チームが対戦し、世代間交流を図った。
 - また、地区振主催の「スポーツフェスティバル」に日本語学校学生が参加し、地区民と広く交流を図った。
- 「敬老会」の継続実施が婦人会会員の減少、高齢化等の影響で婦人会単独実施が困難になってきている。地区内の関係団体に広く協力を呼び掛けてほしい。
 - ⇒令和8年度に食育関係団体、地区振興協議会、婦人会及び公民館とで検討会を開催予定。
- 西小中学校の情報が届きにくい。
 - ⇒公民館報に「西小中学校だより」のページを毎月掲載し、各世帯に配布している。
 - また、学校が発行する「西小中だより」を館内に掲示している。

(5)施設の管理運営における課題

- 自転車駐輪場がないことにより、利用者に対し不便をかけている。また、防犯上も問題である。
- 冬期の降雪時、敷地駐車場の除雪にかなりの時間を要する。除雪体制、除雪機の導入等検討が必要。
- 降雨時、公民館の固定電話回線に不具合が生じ、外線電話が受けられない状態が発生する。電話回線の点検、工事が必要。

8. 管理運営状況

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
------	------	------	------

1 施設全般の管理運営に関する業務 ※ 該当しない項目については、「－」を記入してください。

(1) 人員配置	管理運営に必要な人員及び有資格者を配置している。	○	○
(2) 職員研修	業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	◎
(3) 管理記録	各種の管理記録(業務日誌等)を適切に整備、保管している。	○	○
(4) 安全管理	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
(5) 清掃・維持管理	施設、設備等の保守点検や維持管理等を適切に行っている。	○	○
(6) 施設等の修繕	施設や備品等の修繕を適切に行っている。	○	○

2 利用者に関する業務

(1) 利用状況	事業計画書等に基づく利用者数や施設の稼働率がある。	○	○
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収、減免、還付等の手続きを適切に行っている。	○	○
(3) 利用者満足度	利用者ニーズの把握に向けた取組みを行っている。	○	○

3 事業の実施

(1) 指定事業	仕様書、事業計画書に基づく事業を実施している。	○	○
(2) 自主事業	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○

4 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の保護	協定書等に基づき適切に個人情報を取扱っている。	○	○
-------------	-------------------------	---	---

5 管理運営業務の収支等

(1) 収支状況	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
(2) 効率的な運営	経費の節減や利用料金収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
(3) 経理事務	専用口座、帳簿等を備え、適切な経理事務を行っている。	○	○

評価	評価の考え方
◎ (優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○ (良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△ (課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
× (改善要)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が行われなかったため改善を要する。

9. 施設所管課の総合評価

幅広い年齢層に向けた講座の実施や、隣接する日本語学校の生徒と地域を結ぶ取組など、地域づくりの拠点として大いに活躍されています。また、自治・防災団体との情報共有や、「公民館通信」およびSNSを通じた積極的な情報発信も評価できます。 さらに、利用者懇談会の開催や、運営委員への西小中学校生徒(7年生)の登用など、幅広い世代の意見を取り入れた「話し合いによる公民館づくり」を実践し、誰もが利用しやすい環境整備に努められている点は素晴らしいです。 全国の事例収集や研修講師を務めるなど、職員の精力的なスキルアップの姿勢も頼もしく、今後も地域ニーズや課題を捉えた積極的な事業展開を期待します。
--